



畜産研通信

平成 23 年 第 3 号

岐阜県畜産研究所の情報発信誌

○畜産研究所「ふれあい報告会」を開催しました

平成23年9月2日（金）美濃加茂市 可茂総合庁舎大会議室において、平成23年度畜産研究所「ふれあい報告会」を開催しました。県内の畜産農家、農業関係団体、県の農業関係機関等から約60名の参加がありました。午前中は各研究部からの報告を行い、皆様方から多数のご質問、ご意見、ご要望を頂きましたので、今後の試験研究の参考にさせていただきます。ありがとうございました。午後は独立行政法人農業生物資源研究所 美川 智 先生より、「家畜化と品種改良における遺伝子の変化：遺伝子情報を用いた育種の可能性」と題して講演をいただき、家畜改良の歴史と、最新の家畜育種手法について紹介していただきました。今回各研究部から報告した課題名は以下のとおりです。詳細については、各研究部にお問い合わせ下さい。

- ①「発酵乾燥おからの育成期給与が発育及び産卵に及ぼす影響」
養鶏研究部 立川 昌子 主任専門研究員
- ②「飛騨牛らしい牛肉のきめの細かさと脂肪の質について」
飛騨牛研究部 丸山 新 専門研究員
- ③「無線ICタグを用いた和牛凍結精液流通管理システムの開発と実証試験」
飛騨牛研究部 星野 洋一郎 主任研究員
- ④「乳牛の繁殖性向上を目指して」
酪農研究部 傍島 英雄 専門研究員



各研究部からの報告



特別講演

○研究部トピックス

・飛騨牛研究部

「家畜人工授精師養成講習会が開催されました」

平成23年7月21日から平成23年8月22日まで家畜人工授精師養成講習会が開催され、県内、県外を併せて29名の受講者がありました。8月15日から19日までは飛騨牛研究部で実習が行われました。飛騨牛研究部の研究員と飛騨家畜保健衛生所の職員が講師となり、実際に牛を用いての発情鑑定、子宮内模擬注入、精液の凍結等の実習を行いました。猛暑の中、防護服を着用しての実習は大変でしたが、受講者全員が真剣に取り組む姿が見られました。今後は人工授精師として、酪農や肉用牛の生産現場でご活躍されることと思います。



家畜人工授精師養成講習会（飛騨牛研究部での実習の様子）

・養鶏・養豚研究部

「飼料用米現地検討会が開催されました」

平成23年9月21日から22日まで農林水産省委託プロジェクト研究（豚、鶏）の関係者が全国から岐阜県に集い、中小家畜への飼料用米の取り組み状況について、飼料用米の集荷供給や農家における給与の実態を題材に検討されました。また、飼料用米を給与した豚肉や鶏卵などを用いた商品づくりの事例紹介や、流通関係者から「これからの銘柄豚につて」の提言をいただき、研究成果の出口についても検討されました。



飼料用米現地検討会での講演の様子



飼料用米現地検討会事例視察の様子

畜産研究所では皆様方からご意見、ご要望を募集しております。
電話、FAX、E-mailでお寄せください。

畜産研究所ホームページ <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/beef/>
E-mail: c24509@pref.gifu.lg.jp

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email box@beef.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email box@dairy.rd.pref.gifu.jp
- 養豚研究部 505-0037 美濃加茂市前平町3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email box@swine.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏研究部 501-3924 関市迫間2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email box@poultry.rd.pref.gifu.jp